

# 国際交流基金助成事業報告書

薬学部 2年次生 中舗 美里

## 1. はじめに

この度、本学の国際交流基金の助成を受け、2018年2月26日～3月10日までの間、オーストラリアのNew South Wales州にあるTAFEという専門学校にて薬学と語学を学んで参りましたので、その内容についてご報告いたします。

## 2. TAFEにて

### (1) English class

English class では、比較・最上級など基本的な文法や英語の発音、オーストラリアの地理・文化・動物について英語で学びました。また、ホストファミリーとの会話に使える英語も学びました。学んだことをその日に使うことで記憶を定着させることができたと思います。英語を聞き取ることは難しかったですが、先生がゆっくり何度も言ってくださったので理解できました。

### (2) Pharmacy class

Pharmacy class では、オーストラリアの薬の分類や日本との薬剤師の違いを学びました。また、薬局へ行き日本との違いを学びました。一番大きな違いは、オーストラリアでは薬剤師が薬局でインフルエンザの予防接種を打つことです。医師の負担が軽くなるので日本もそうすべきだと強く思いました。また、オーストラリアは紫外線が強く、その人体への影響を軽減するためのビタミン剤が何種類も大量に売られていました。さらに、オーストラリアの子供たちの多くがシラミに悩まされているようで、日本より多くの種類の薬が売られていました。

### (3) その他

TAFE でマッサージを学ぶ学生さんから、マッサージを受けました。体の歪みを細かく見て問題がある部分を指で押し続け、痛みが無くなったら終了という方法でした。ずっと痛く、気持ちがいいというような感じではありませんでした。上手く自分の気持ちを英語で伝えることができず、とても困りました。また、オーストラリアの小学校へ行き、小学生に日本の文化を紹介しました。小学生の目は輝いており興味津々で、楽しんでもらえたようで嬉しかったです。

## 3. ホームステイ先での生活について

学校から徒歩15分程の場所にあり、とても大きい家でした。ホストファミリーはとても温かく私を迎えてくれて、初めての海外、ホームステイでとても不安でしたが、充実した日々を過ごすことができ、最後には本当の家族のようになれました。私が聞き取れない言葉があると何度も言ってくれたり、紙

に書いてくれたりして、英語が得意ではない私でも楽しく会話することができました。授業が終わった後はスーパー行って一緒にお買い物をしたり、近所の方たちとのパーティーに参加したりするなど、普段体験できないことができました。

#### 4.おわりに

今回の薬学語学研修を通して、自分がどれだけ英語を話すこと・聞き取ることができないかを痛感しました。高校までで習った文法を知っていても、自分が言いたいことを正しい文法で話すことは難しかったです。しかし、正しい文法ではなくても、言いたいことを単語だけで言っても伝わりました。正しい文法、たくさんの英単語を知ることはもちろん大切なことです。一番大切なのは相手に伝えようという気持ちだということが分かりました。また、海外へ行くことで日本の良いところを再発見することができました。日本の良いところをいつでも海外の人に言えるように英語をさらに勉強したいと思いました。この貴重な体験で得たことを残りの学生生活に活かしていきたいと思います。

